

バドの全国大会で初V

岐阜のソアークラブ

学生時代の競技経験がない女性が参加する「全市や近郊の三十二〜五十人日本レディースバドミン八歳の主婦や保育士六人トントン選手権大会（日本バド）で構成。全国大会の常連ドミントン協会など主だがこれまでは二年前に鹿兒島市内であった。

大会には四十七都道府県の代表四十八チームが出場し、予選リーグと決



日本一の優勝カップを手記念撮影するソアークラブの選手やスタッフら＝鹿兒島市で（同クラブ提供）

予選リーグを「勝一敗でトップ通過し、決勝トーナメントは千葉や福岡の強豪を次々と退けた。決勝は広島代表のママーズに2-0と快勝。ウイニングショットを決めた多田智美さん（宝巴）は「家事やパートの合間に、ラケットを握り続けてきた成果が出て本当にうれし」と喜んだ。

高橋よね子監督（60）は「親子ほどの年の差だが、チームのまとまりは他より強かった」と勝因を分析。「体を動かし、全国大会に出るやりがいを知ってもらえたら」と仲間を募っている。問い合わせは、事務局の民谷千寿子さん＝電058（127）3486＝へ。